飯田市

発行所 飯田市公民館
編集人 飯田市公民館 新聞委員会
印刷所 木下活版株式会社 飯田市主税町23

いつでも どこでも
トマツの
ヨイタネ
飯田市松尾町一の一
T147有線10回線の1

社会教育研究集会

飯伊初の地方セミナール

民主団体の提携に発展

▽…下伊那郡公民館運営協議会、飯田市公民館主催の社会教育研究集…△
▼…会が去る七月二十三日、二十四日の両日、飯田市中央公民館に於…▲
▽…て宮原誠一（東大教授）三井友為（都立大教授）福尾武彦（千葉…△
▼…大教授）等の社会教育の権威者五名の諸氏を講師に、飯伊公民館…▲
▽…関係者をはじめ、保健婦、改良普及員、青年団、婦人会等の多数…△
▼…参加のもとに熱心に討論が行われた。…▲

この研究会は〝生活を豊かにする村づくり町づくり〟を目標に活動しているのは公民館だけでなく農協、改良普及員、保健婦等各方面から働きかけ、受ける方は同じ住民ということであるので、働きかけをばらばらに行うのではなくみんなで協力して機能を充分発揮しようという課題のもとに開催されたものである。

第一日目は「社会教育をいかにすゝめるか」をテーマに、各公民館主事のレポートを資料に研究会が進められた。全般的に共通した課題は〝地域に学習活動をひろげていくことのむずかしさ〟があげられ、その原因はさまざまであるが結局「現在の公民館組織の反省」「他団体との結びつきの薄さ」「行政諸分野とのつながり」がもたれていないこと「主事自身の研修と身分保障」更に「行政の末端にいるものとしての矛盾意識」等が主な問題として討議された。

第二日目は「生活を高める学習」をテーマに一日目の研究を更に深めるために講師から問題点が提出され各分科会で討議した。

討議内容の要旨は次のようである①さまざまな民主団体が活動しているが婦人の動きが弱いのではないか、さらに運動は盛んでも政党の観念がないのはなぜだろうか。②共同学習を通してもつと教師との結びつきが深められないものか③生活を高める学習をする前に、今の生活がいかにひくいかを認識させる必要がないだろうか。④学習運動を進めるためには自分の力を精一杯出してみるという根本的努力が必要ではないか。以上の問題が熱心に検討され二日間の日程が終了した。

新聞委員会役員決る

本年度公民館報の飯田市統一版の編集及び各地区相互の連絡をはかる飯田市新聞委員会の役員が次の通り決定した。

委員長 清水一徳（山本）副下平正賢（竜丘）会計 佐々木高行（座光寺）記録 熊谷国男（伊賀良）

論説

公民館活動の再検討

行事的公民館活動より学習的公民館活動えの脱皮を。

去る七月二十三、二十四と二日間に亘り中央公民館に於て東大宮原誠一、都立大三井為友、千葉大福尾武彦、立正大藤田秀雄、生活科学調査会田辺信一の各先生方を講師にして飯伊社会教育研究集会が開催され、今後の社会教育の進め方を中心にして種々話し合いが行れた。

勿論その研究集会がそこで話し合われ又各講師の意見が今後の社教活動の全てと云う訳でもないが大変参考となり、新らしい活動形態えの脱皮するに良い時期ではないかと思う。

十年来この方間口を広くあれも公民館これも公民館と人集めの行事を主体にして来、こゝ数年前より行事的公民館活動より学習的公民館活動えの脱皮を。

その内部に幾つかの学習形態や話し合の場を求めてすごして、而も誰しもこれでいゝのだとの自信をもつて来たのでなく只々希望と主観によつて動き進んで来た様に考えられる。

いつまでもこれではいけない、何とかしなければいけないと充分感じながらも過去の流れの中でそれを乗り切る事が出来ずに、これは社教活動の目標が学校教育と異なりぼくぜんとして限界の無い点が指摘されるし今后も社教活動の目標はこれだと決定ずける事も出来ないがその中でやはり何かをつかまえ何かをとらえねばならないと考えられる。

では一体今後の活動をどうしたらいゝかとつきつめたとき、学習を基として、石頭の人間でなく、自由に物を考えれる、自由に物を批判し合える人間改造を、それに結びつく社会改造を思つたときに必然的に活動体形が生れてくる様な気がする。

それにはやはり社会性を基盤として個々の人間性を尊重し合う基礎学習という問題が大きく浮び上つて来、皆んなが理解して学習に入りその有効な活動と利用が進んでこそ人間改造と同時に誰しもが望む平和な住み良い社会が生んでいる平和な住み良い社会が生れてくるものと信ずる。

学習形態の発根の仕方、誰がどういう形でやつて行くかは研究と目時が必要であるが、身近な自分達の周囲にも既に幾つかの自主的な形態が生れて育ちつゝあるので、正しき認識と、各自の本質的な要求、実践面の利用等を今後更に研究し伸す体勢と広める工夫をすることが今後の公民館活動の大きな役割ではないかと考える。

行事的な活動の比重と学習的活動の比重とが現在はあまりも大きな差がある。今後過去の公民館で行つて来た行事を止めよと云々するのではない、より皆んなが楽しい行事は当然進めるべきであるが去年やつたから今年もという事でなくそこを社会性と本質的な要求に基くものとして育てると同時に別な面の学習活動の比重を大きくしたい。今後の公民館活動は皆んなの理解と協力のもとに再検討の必要に迫られている。

心配ごと相談所 開設される

八月一日から飯田市に「心配ごと相談所」が発足した。

この相談所は飯田市社会福祉協議会が飯田市の委託をうけて行うもので相談員として民生（児童）委員が交代で当り必要に応じて保護司、更生保護婦人会長、弁護士、医師、その他の専門家を協力員として随時依頼することになつており、毎週一回金曜日中央通り児童館にて午前十時から午後三時まで（各地区は毎月一回公民館、その他の会場で行う。）

くらし向きのことから、仕事や結婚の相談、姙娠調節、法律相談から子供の問題など、あらゆる相談に応ずることになつている。

市社協ではどんなことでもよいからどし〳〵気がるに相談してくれるよう望んでいる。

（地区の相談日は、第三水曜伊賀良第三木曜山本第四日曜三穂第四火曜竜丘第四水曜下久堅第四木曜松尾第五日曜座光寺）

関心を高めよりよい環境に

青少年保護育成を図る

飯田市社会福祉協議会では本年度重点事業として「青少年保護育成」の問題をとり上げ予算十数万円を計上し積極的な推進を図ることにした。

この運動の進め方は、

1 家庭を良くしよう。

この運動は、第一に親の関心を高め第二に家庭の環境を良くすることにねらいをおいている。親同志が話し合つて〝子供の育て方〟〝みちびき方〟を研究し、親と子が話し合つて子供の気持、その望みや事柄を知つてよく理解してやりまた親の気持をよく知つてもらつて、家庭内における相互の関係を常に明るいものにするということが最ナの目的である。

しかしこうした親同志、親と子の話し合いを進める前提になるものは〝親の子供に対する関心〟である、実際の状態は、うちの子は大丈夫だ、と信じ、子供の教育は、学校にまかせてあるから、こういう運動はPTAでやるのが適当だと自分もPTAの一員であることを忘れているなど実のところみんな無関心でいるのが実態だ。

2 社会の問題

一軒の家で一人一人の子供を一生懸命育て導くことによつて子供は正しく育つて行くはずではあるが、友達から友達へと影響を与えるし、最近の様にグループの行動がめだつて来ると社会的な問題となる。隣近所の親達が互に手を取りあつてその地域の子供達を守つて行くということが必要となつて来る。したがつてみんなで話し合つてみんなで考えて行くことでないと実効を修めることはむずかしい。

一度あびて15円 涼むには安いもの

写真は にぎわうプール

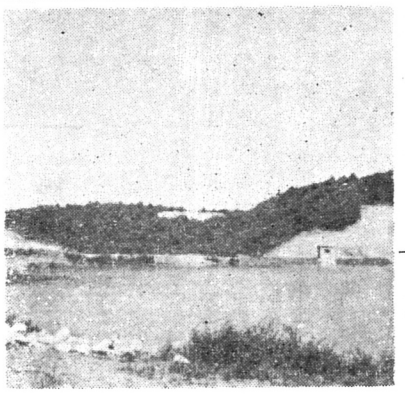
予算難で難行した市民プールも遅れ七月九日に竣工し、現在は連日超満員の人場で、さながら芋を洗う様な賑やかさである。入場料一五円は避暑の方法としては安いものであるらしく朝から夜九時半まで老若男女がわんさとおしかけ、オリンピック東京大会に大きな夢をかけて今日もプールでカツパ連が「みずあび」をしている。

進む観光五ケ年計画

飯田市観光課では観光事業振興計画が五ケ年計画で着々と進められている。

飯田市観光振興には施設整備、文化財等の保護、宿泊施設整備拡充等の計画で振興されている。

自然公園整備には一、天竜川の舟下りを中心とした整備、一、中央アルプスでは木曽峠ー越百山、摺古木ー秀岳、安平路避難小屋。一、山麓開発関係として太平高原を中心とした奥石、秀岳、木地ガ平、風越山を中心とした虚空蔵山、樽の沢、風越プール、さくらの泉の整備。都市公園整備には元善光寺公園、天竜公園（弁天、水神、鼎流峡）鈴岡公園、万寿公園、八宮泊施設の整備拡充計画にはユースホステル、国民宿舎などの計画がされている今後の問題として考慮していきたい事は下呂線、中央道の件を含み市内観光地の施設整備に強



この運動をより効果あらしめるために、現在あるいろ〳〵な団体や組織、公民館、小グループ等で取り上げ全地域、全市民の協力の下でこれを推し進めていきたい。

声

十月二十五日には市長選挙と飯田地区の市議の補選が行われるようであり又衆議院総選挙等も噂されておりますが七月行われた農業委員の選挙はあれでよかつたでしようか、あのような腐敗した選挙が若し市長選挙や衆議院選挙に引続かれたらどうなるでしようか、それは直接その渦中にまき込まれた私達の心配だけではないと思う、立候補したい人も頭から押えてしまう部落割当推せん、無投票にせんとする強制的な辞退干渉、戸別訪問や部落へ出入者立番、又投票日に有権者を投票所迄の自動車のサービス等、その上物品贈与の投票依頼もあつたときいていますがこの選挙ぐらい罪を流した選挙は最近にないと思います。

身近かな選挙こそ明るいものにしたいものです。このようなことがある以上公明選挙も遠いものとなります。

有権者として公民館や選挙管理委員会にお願いしますから今から啓蒙にのりだしてもらいたいものです。（一有権者）

信州短信

伊賀良

▲沢城湖出来る。

湿水溜池として工事が進められていた大瀬木区の沢城湖がこの程完成した。水面二、二ヘクタールの湖が出来新しい観光地として連日キャンプハイカーがテントをはり大変なにぎわいを見せている。

三穂

▲小笠原博院保存

何ら保存への途もないまゝに放置されて来た小笠原博院は、僅かに曙光を見出した感があるそれは、先般小笠原氏が帰飯して市に買取を申し出て来た事である。

三穂地区としては文化財でもありこれの存置には強い要望をもつているが如何とも方法がなく市側と小笠原氏との間に話の進展をまつている。

竜丘

▲遺蹟の発掘終る。

立石吉ケ沢地籍に土器が発見されたのは去年の事、その後県教委との事務連絡もすんで今年六月末塩沢正人氏や郷土史家の手によつて発掘が実施された。最初住居蹟と考えられていたが発掘された様子からは弥生期の祭典の行われた跡、即ち祭祀跡と見られもしそうだとするとこれは珍らしいものであり、今後の研究に期待がよせられている。

南信

▲南信華厳地区第五回野球大会は八月八日竜丘学校に八チームが集つて熱戦をくりひろげ、竜丘が四対〇で三穂を破り優勝した。竜丘はこれで八月二十八日に伊那市で行われる南信県大会への出場権を獲得したわけであり、優勝候補として期待されている。

下久堅

▲中大生、水神公園にキャンプ

中央大学ワンダーホーゲル部学生二〇四名は去る八日、中アの木曽、大鹿等をキャンプし集結地を下久堅水神公園に決め午後三時全員集結、市観光課を受入れ主体に公民館をはじめ各団体がこの学生の基本的なキャンプファイアーに参加し相互に地元舞踊等を交歓し楽しい夏の一夜を過ごした。

風車

▲連日の猛暑に新設された市民プールは大賑いで、市当局が予想した以上の満員時には入場出来ない者も出たと聞き、それだけ目に見えない要求があつて寄附までして建設した事に対して大変結果的には良かつた事と考えるが、プールで本当に泳ぎたい人達によつてはプールの水に浸つてくるだけだという悪評も聞く。▼最近上伊那では保健所の注意により天竜川での水泳が禁止され、PTAが中心となつて学校プールの建設や水のきれいな小川に仮設プール的水泳場を作つて子供達の青なき要求を充してやろうとしているが飯田市の一部に於てもそれと同じ様なケースが見受けられる。市内の各学校に全部学校プールがある訳でなし一度市民プールえ行きたいがバス代がかゝつてと考えこむ遠隔の人もある。

伊賀良地区に一大観光地出現

いよ〳〵完成した温水溜池は満々と水を湛えすばらしい景観の山中湖となり今回沢城湖と命名し之を観光地として売出すため沢城湖観光協会が発足し八月七日現地に於て盛大に発会が行なわれた。

写真は、出来あがつた沢城湖

六年つづきの豊作近し

七月以来の好天続きで・稲丈もずつとのびて今年も豊作。もう早生種は早いところではハザにかゝつている田圃も見られるが重い穂をかしげ秋の涼風にゆつたりと揺られている様は私達に安堵感を与えてくれる。晩生種は厚い筵の中からニツコリと顔を出してきて花かけの最中だ。みんな私達の努力に報いてくれた汗の結晶だ。台風よ余りいじめないで下さい。米の予約も順調だ。目標額の3900俵に対して3923俵と101％の予約を得た。昨年は3510俵の予約に対して集荷実績は3933俵となつているので今年も予約外集荷もかなりの数量が見込まれそう。4000俵の大台を破ることが期待される。

伊那谷の農業は変るか

新井地籍に罐詰工場を建設

清水食品が十月頃着工

◇…兼ねてより懸案であつた農産加工工場の誘致運動が実を結び清水食品会社が此の程松尾新井地区に建設される運びとなつた。農業経営の変革と相まつて、農家に及ぼす影響は大であり、関係者多数から大きな期待が寄せられている。

農村振興対策の一環としてここ数年来計画運動されて来た農産加工工場の誘致問題も、郡市工場誘致委員会等が中心に、積極的な運動が行なわれその実現を見たのであるが、当初清水水産、清水食品、後藤罐詰の三社が候補に上り、種々検討、研究した結果、清水食品株式会社が決定した訳である。工場敷地に予定されている松尾新井地区の土地交渉も遂行していたがその問題も大部分解決し出来れば十月頃着工し、来春四月には操業を始めたい模様である。

工場敷地は四〇〇〇坪で昨今ボイラー一基（ボイラーにより処理能力が決る）将来は二基にする計画である。工場の設備に当る資本金は全部会社が持つことになつており新会社として発足する運びとなつている。又従業員は地元より優先的に一五〇名位を採用する予定になつている。

営業内容は農産加工中心で桃、洋梨、マツシユルーム、竹の子、いちご、トマト、アスパラガス、等が加工され、通年操業を目的に計画が進められている。竜丘地区にしても桃、トマト、タバコの倉や桑置場、堆肥舎を利用してのマツシユルームや水田裏作のいちごなどを作り農家の現金収入を増す事が出来ると思う。

此の加工工場の実現により、飯伊地方に於ける農業経営に大きな改革がなされるものと見られ各方面より多大な関心が寄せられている。

農家の願いであつた農産加工工場の実現が出来、飯伊地方に於ける此の工場の役割は非常に大きいと思われる。今度は農産加工原料の確保が大切で折角出来た工場も原料がなくて工場が成立たなくなつてしまつては駄目であるから、先ず出荷組織の一本化を計らなければならない、それには生産者及び関係団体等により統制委員会を作り計画出荷の一本化を計らなければならない。今後増々需要がのびる事は確実で契約栽培により農家経営の安定を計るのがねらいである。

市農業振興課長談

可搬式動力ポンプ入る

駄科、上川路に

飯田市消防団五ケ年計画の一つとしてこのほど可搬動力ポンプ六台を買い入れ八月十一日中央公民館で関係者が出席して入魂式を行い、松尾、二台、下久堅一台、伊賀良、一台、竜丘、二台（駄科上川路）をそれぞれ配置された。今後の消防団活動に一大威力を加えるものと期待されている。

このポンプは一台三十四万円で三割を地元負担となつている。

……【】……

写真説明　放水試験をする団員

竜丘振興室　宮川技師談

此の工場が来る事は農村にとつて大きなプラスではあるが今後に於ける問題は大であり心配される点があると思う。兎に角目先の利害にとらわれず、将来の事を考えて計画的な生産をしていかなくてはならない。農民の自覚と団結が必要であると思う。

× × ×

駄科南常会が優勝

お盆の野球大会

恒例の常会対抗野球大会は去る十五日、各分館からの代表八チームが出場し炎暑の中での熱戦がくりひろげられた。

その結果駄科南常会と桐林上北常会との決勝戦になり熱戦の末駄科南常会は強剛上北常会を退け初の優勝をかざつた。

駄科南

4			5				
3		4		10		0	
4	13	5	1	7	1	9	15
寺	時	上	上	駄	長	時	桐
下	又	北	宮前	科南	二	又	林南
三						八	

戦績は次の通り

あの人この人

永遠に幸あれ

氏名	年令	性別	部落名
緑川守男			東京都へ
宮川好子		長	野原
花沢満雄		千	葉県へ
原道子		時	又
牧内睦雄		駄	科
今牧哲子		伊賀良より	
吉川幸雄		駄	科
福田豊子		岐阜県より	
下平薫		飯	田へ
熊谷照子		駄	科
矢沢吉		松	尾へ
中島要子		桐	林

伸びよ健やかに

氏名	父名	性別	部落名
熊谷信	太治	男	駄科
林法夫	知法	〃	桐林

御冥福を祈る

氏名	年令	性別	部落名
今村みせよ	八七	女	時又
林いと	八五	〃	駄科
徳丸孝子	一	〃	〃

市長選十月二十五日

市選管では、市長選挙を十月十五日、告示、同二十五日、投票、また旧飯田地区の市議補欠選挙（三人）も同時に行うことになつている。

農事メモ

こんにやく腐敗病の防除

こんにやくの病気は今まで葉に異状がなくて根元から倒れる白絹病、葉焼状態になる葉枯病に続いて、これから恐しい腐敗病の蔓延する期節です。腐敗病は、葉や葉裏の葉柄が湿潤状となり、黒褐色となりますが、茎に病気が進むと茎の一側に縦に条になつて腐り遂に倒れ、いもも腐ります。

この病気は、強い風や、雨によつて葉に傷がついたところから侵入し僅かの日数で茎までやられ倒れてしまいます。

この防除は雨や強い風のあつた直後に消毒する事が絶対必要です。消毒は六―六式　四斗式（等量）ボルドー液へ水銀水和剤（ルベロン錠等）を一斗に二錠入れ展着剤を加えて反当一石以上葉裏へよくかかるように撒布して下さい。特これから台風シーズンですから台風の直後の消毒を徹底的に行うようにして下さい。

佐々木宗治氏が落札

かねてより、その処分問題で地区民の注目の的であつた旧竜丘中学校々舎は去る七月十三日、市財政課によつて、入札により競売された。

処分対称となつたのは、南館一棟だけで本館記念館は残される。

南館一棟、二階建、延坪一〇一坪、延坪二〇二坪で飯田市銀座佐々木宗治氏が五十五万三千円で落札した。

尚九月十五日迄に取りこわすこととなつている。

私の意見

安保には反対

小林氏に答える

高島博

七月の小林誠氏の「私の意見」を読み考えさせられるところもあるので之に答えて筆をとつた。

地球を半周してきたチリ地震津波による大きな被害に象徴される何か底無しの不安や、太平洋での米ソロケツト実験に冷戦爆発の寒け立つ緊張した空気を感ずると言われる小林さんに同じ空気を呼吸する現代人として私も同感しますが安保やその他の問題の理解の仕方には大きな違いがあることを知りました。

日米安全保障条約の改定は形式的には一応批准されたが岸内閣は遂に退陣せざるを得なかつたのは何故か。無条件な日米の結び着きを国際信用の基準と考える岸を中心とする支配権力に対して、安保反対の度々のデモ、各方面の政治的動き、一般民衆の盛り上る活動ひいてはハガチー事件から政府のア大統領は中止申入れがなされ、遂にア大統領を前例の無い立場に立たせた岸内閣の失政と判断し、遂に退陣を止むなくさせられたのだつた。小林さんは社会党の態度を審議無用的な最初からの反対だとし、論争点など遠く小さく流れ去つたと云つているが、私は反対で、論争点は審議の過程で大きく浮び上つて今日まで対立を残しているのである。例えばグラマン、ロツキードの問題では軍事資本と政治との結びつきに疑問がわき、条約上の極東の位置を言う左右に拘束条約との境がはつきりせず、事前協議の問題も日本側の自主性の点は国民的要望であるが国民の不安は消えなかつた。

此のような重要な問題が議会の審議を通じて明らかになり議会は行政協定などの審議の為と会期の延長を議決したのに突然政府与党は審議打切り採決を強行した。その間の不当を叫ぶ野党代議士は議長が導入した警官に一人一人運び出されたのであつたが此の間の双方の行動は国民の判断を待つより仕方がない。

日本は断固両側自由世界の側にしてはつきりしないので米台、米立つ、アメリカは日本の意に返して行動しない、相手国の言を信じなければ国際関係は成立しない。従つてアメリカの言明は信用出来る、という政府の言は民衆の信頼を得ているであろうか。

小林さんも「安保の本質は一体何なのか、日本人の案外多くが必ずしも安保賛成ではなかつたのは何んによるか」と冷静な見方をしておられるが、平和中立についての考え方を十才児と評し単純に考えておられるようだが、私は、正しい道を示している多等民主的、平和的な民衆の意向こそ、よくよく聞くべきものと信ずる。

農民の政治的要求も今後は強く押し進めなければならないが、それには、農民は本来平和的な職業であることを忘れず、之と反対の者に対しては大いに戦わねばならない、と思う。

時代の流れの中で

駄科　吉川たけ

早いものでもう戦后五年、戦中戦後を通じて私達の上に襲撃したあの恐しい悲惨な苦しみは、今となつても脳裡から去りません。あの音響に絶して止まる処を知らない過酷さに覆われ尽した生活は二度と体験したくはありません。

戦争こそは歴史的に見ても世界の悲劇であり人類最大の悲劇でもあるからです。当時をふりかえつて見ると本当に人間の生命力の偉さとあこがなまでの生えの執念と云つたものがひしひしと感じとられる毎日であつただけに私達にはかけがえのない貴重な体験であつたと云えましよう。

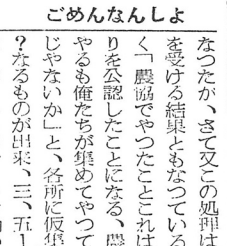
私達は常に世論の正しい解説を求めて認識を深めて行かなくてはなりません。安保改定の際のあの騒然たる事態に耐え難いものを感じました。あの時は国民一般の自覚もあつて空前の国民運動として盛り上りをみせましたが、刻一刻と変動しつゝある内外情勢の中で私達は今こそ戦争への憎悪を真剣に考えてみる必要があると思います。ウインストン・チャーチルは「かがやかしい科学の翼にのつて再び石器時代がやつて来るかも知れない。」と暗黒時がやつてくるかもしれない」といつています。事実輝かしかるべき科学が生み出した原爆によつて広島長崎は一瞬にして数十万の尊い人生をふみにじつたのです。原子力時代となつて原水爆の所有国が出来ない今五十の峠を越せば時代感覚もなくピンボケ症となつて大勢力と分断された世界は時を争つて人類の大量殺戮を計るべく死の科学の研究を推し進めています。私達は世界随一の原爆の洗礼をうけた民族です。

戦後十五年戦争の傷痕は消え去りません。戦争は人類の自滅を意味するものです。「母の願い」の歌詞のように人道的悲願をこめて戦争への憎悪を強張する義務と責任こそ不可欠のものと思います。今度我が国始つて以来の婦人大臣が誕生しました。男達の社会から歪められて来た婦人の力が認められと信頼された証左ともいえましよう。

党には到底不適材であるときめつけた因るのです。いろ〳〵の意見や誹謗な声もきゝましたが私は虚心坦懐でした。皆さんの啓蒙をうけて再びその座につくことになりました。私と前后して主人も区議に出ることになりました。主人にも何の識見も判負も無いでしよう。安易な妥協は好まず一筋の道を辿りたい気質これも困づたもの夫婦共に何の因果から語つています。

次回のバトンを長野原佐々木春男さんにお渡しします

斜陽産業として捨てられようとしていた養蚕だつたが、ここのところものすごい養蚕景気の再来、景気好況とともに、なによりも、すでに他に転換出来る所はどんどん変つて絶対量が少くなつているゆえんでもある。〆当り二千円の価を聞くのも六年ぶり、まつたくここでは今はお蚕様々だ。農協では抜売と他養種の進出を抑え、農協への絶対供繭量を増大する為にと異例の処置をとつたが結果的にはあまりよくなかつた。しいこの異例の処理各方面からの風当りはものすごかつたとか、その為にか夏繭は今までどうりと云うことと



ごめんなんしよ

なつたが、さて又この処理は反動を受ける結果ともなつている、日く「農協でやつたことこれは抜売りを公認したことになる、農協でやるも俺たちが集めてやつていいじやないか」と、各所に仮集繭所？なるものが出来、三、五、四割近くがこちらのルートで動いたとか動かないとか。養蚕の見通しは明か暗か。天蚕社は百姓と同じで「生かさないように、殺さないように」か。

（徳川蚕庭）

編集后記

○よく紙面を見ていただくと本号は印刷所がかわつたことに気づかれることと思います。飯田市七地区の公民館報を今回は松本から飯田へ試験的に移してみたわけ。理由は色々ありますが、本号はことに、館報として読み良いか読み悪いかについて、皆様の声をお寄せ下さる様お願いする次第。